

デザイン天井材・吸音壁材共通注意事項

- 仕様・取り扱いが予告なく変更する場合がございます。
- ご利用に際しては、貴ご設計部位・用途における各種関係法令に遵守していることをご確認のうえご採用をご検討ください。
- 標準色以外の対応についてはお問い合わせください。

ルーバー・天井システム共通注意事項

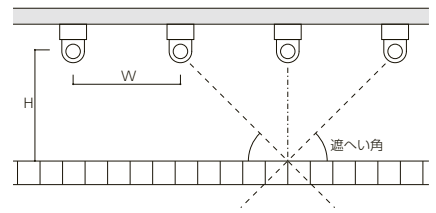
- 使用上のご注意**  
弊社のルーバーシステムは、一般居室の内装仕上材の仕様になっております。また、メンテナンスの容易性などのために任意のパネルの取り外しが可能なシステムになっております。そのため、以下のような場合に使用される場合、パネルが腐食したり、落下の危険がありますのでお問い合わせください。
- 風圧のかかる場所に使用する場合**  
外部の軒下天井や、風除室、駅のホームなどに使用される場合、風圧により、パネルが浮き上がり脱落する可能性があります。かなり高い風圧がかかる恐れがある場合には、パネルを固定をするようおすすめします。
- 浴室・軒天などに使用される場合**  
浴室・軒天など湿度の高い場所に使用する場合、腐食し落下する危険があります。製品は塗装前処理を施す、部材・吊り下地材は防錆のため、塗装したステンレス材を使用するなど耐候性の高い仕様に変更してお使いください。ただし、ステンレスも腐食に対して完全ではありません。換気を充分に行い、定期的な点検を行ってください。
- 外部に使用する場合**  
軒下天井など、外部に面した場所に使用する場合、腐食などにより初期の強度から低下してしまい脱落する可能性があります。そのような場所に使用される場合は、耐候性を重視した仕様（塗装など）をおすすめします。また、下地に関しても、ステンレス製の部材などの耐候性の高い部材をお使いください。
- 地震などによる落下を防止する場合**  
一般的にルーバーパネルの納まりは、間口寸法に合わせてカットし、L型及びT型ランナーに載せる、あるいはハンガーランナーに引っ掛けて取り付けます。風圧・下面からの力・地震などによる落下を防止するためには、ペリメーター用または中間用落下防止ワイヤーセット(P.219をご参照ください)を用い、L型及びT型ランナーに載っているパネルあるいはハンガーランナーに引っ掛けているパネルを単独で吊ってください。
- 下面から力が加わりやすい場所に使用する場合**  
天井高が低く、容易に触れることができる可能性がある場合や、体育館などのように、下面からボールなどが当たる恐れがある場合、ルーバーパネルが外れる可能性やルーバーが破損する恐れがありますのでお問い合わせください。
- ルーバーに展示パネルなどの物をぶら下げないでください。**  
ルーバーに展示パネルなどの物をぶら下げるとルーバーのたわみによりアルミ枠からのルーバーの脱落またはルーバーの破損の原因になりますので遠慮いただくようお願いいたします。

均一な明るさ感を得るための注意点

ルーバー照明のポイントは、天井全面をできる限り均一な明るさとし、光源を意識させないソフトな照明空間を創り出すことです。

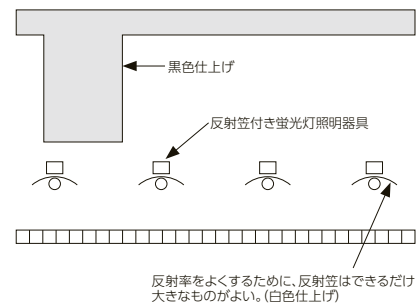
①光源とルーバーの間隔

使用するルーバーの遮へい角を各商品ページで確認し、遮へい角上にランプの芯がくるように、光源の間隔(W)と、ルーバーから光源までの距離(H)を設定してください。ただし、(H)が300mm以下になりますと、上記算出設定になっていてもランプイメージが出ますのでご注意ください。

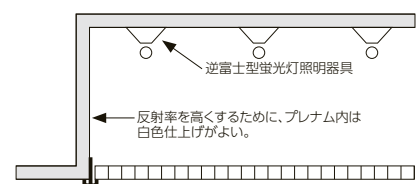


②プレナムの仕上げと照明器具

〈スラブ直の場合〉



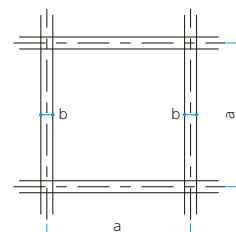
〈二重天井仕上げの場合〉



ルーバー効率・開口率について

セル1つの開口面積の、芯～芯の面積に対する割合 (排煙口・ガラリ等にルーバーを使用する際に必要です)

〈ルーバー開口率の計算〉



$$\text{開口率(\%)} = \frac{(a - b)^2}{a^2} \times 100$$

a = セルのWまたは寸法    b = ブレード厚